

※この文書は、参考として英語の原文から翻訳されたものです。この内容に齟齬が生じた場合は、英語の原文が優先するものとします。

円谷フィールズホールディングス ウルトラマン：日本のアイコンから世界的な現象への躍進 代表取締役社長グループ最高経営責任者 山本英俊

KPMG は、「日本はアジア地域のハブおよび研究開発センターとなる大きなポテンシャルを秘めています。」と述べています。これは、力強い経済、才能にあふれた労働力、信頼性のある税制フレームワーク、および開かれた革新的な文化に起因しています。その民間セクターを活気づけるための積極的な一環として、日本政府は 2023 年 6 月に「新しい資本主義」戦略の最新版を発表しました。この戦略では、人的資本、画期的なスタートアップ、GX&DX、そして科学、技術、革新への投資の重要性が強調されています。意味のある労働改革と組み合わせ、生産性を向上させ、それにより増加する所得がさらに支出を促進する繁栄サイクルを築くことを目指しています。

日本のエンタテインメントの中心に踏み込むと、パチンコは象徴的で愛される娯楽として輝いています。垂直にしたピンボールマシンとよく似たパチンコは、全国の非常に多くの遊技場で楽しまれ、プレイヤーには、勝利の対価を特別な景品に交換するスリルがあり、それらの景品は後で現金に換金することができます。驚くべきことに、2021 年にはパチンコ業界はレジャーセクターの収益の 26.2%を生み出し、14.60 兆円となりました。大局的に見ると、これは日本の観光業とスポーツの収益を合わせたものを上回るだけでなく、ラスベガスストリップ（中心部）が稼いだ額の 10 倍以上と驚異的な金額です。現代の遊技場では主に、魅力的な音楽、輝く光、アニメーションを映すダイナミックな LED ディスプレイが特徴の「パチスロ」機が主流です。パンデミックの中で課題に直面しながらも、緩和された規制やスマートマシンなどの先進技術の導入により、業界は立ち直り、それに伴い、ブルームバーグの報告によれば、パチンコ関連の株式が著しく上昇しました。

TSUBURAYA FIELDS HOLDINGS は、2022 年に TOPIX 指数で際立ったパフォーマンスを見せ、市場において単なる参加者以上の存在となりました。彼らは業界最大の流通ネットワークをもつパチスロ機の主要なサプライヤーおよび製造業者です。その遊技業界における成功は、強力な知的財産 (IP) という武器に裏打ちされており、エヴァンゲリオンシリーズなど有名な、誇るべきヒットシリーズを有しています。しかし、それだけではありません。TSUBURAYA FIELDS HOLDINGS は 60 年の歴史を誇り、膨大なコンテンツとデジタル領域を支える円谷プロダクションを子会社に持つ事業会社です。このスタジオは、世界的に轟く IP を創造する最前線にいます。その中でも際立った創造物の一つが、円谷英二の発想から生まれた「ウルトラマン」です。この日本のスーパーヒーローは、元の物語を超え、世界的なポップカルチャーへと進化し、Amazon Prime Video や Netflix などの国際的なメディアプラットフォームでも観られています。円谷フィールズホールディングスグループは、「すべての人に最高の余暇を」の実現を目指し、次世代の心に響くレジャー体験を創造していきます。

スリリングな娯楽体験を通じて人々の生活を豊かにするという基本理念のもと、TSUBURAYA FIELDS HOLDINGS は、多様なマルチメディアエンタテインメントと没入型デジタルコンテンツを通じて、その知的財産 (IP) の価値を高めるという使命を守り続けています。彼らの宝とも言える IP ポートフォリオの中心には、アジアで最も優れた英雄的な

存在であるウルトラマンがいます。2020年にアメリカの裁判で海外権利を勝ち取って以来、ウルトラマンはTSUBURAYA FIELDS HOLDINGSの国際的な展開において中心的な存在となっています。この勢いは、2022年に高い評価を受けた「シン・ウルトラマン」の発表およびその後のAmazon Prime Videoでの配信によってさらに加速しました。この成功を踏まえ、同社は上海海昌海洋公園に世界初のウルトラマン中心のアトラクションである「ウルトラマン・エリア」を公開しました。この驚異的なテーマパークでは、12メートルの高さを誇る壮大なウルトラマン像や、テレビシリーズで親しまれた象徴的なシーンを緻密に再現されています。

「（ウルトラマンエリア開設の）タイミングは絶妙で、ちょうど上海のロックダウンが終了した時期と重なりました。中国全土から多くの人々がその場所を訪れ、入場待ちが4～5時間に達するほどでした。また、私たちは中国でトレーディングカードの販売も始め、それらの売上が急伸びしました。中国で当社のキャラクターのコピー（複製物）が多くあることは驚くことではありませんでしたが、今では人々は本物のウルトラマン商品を求めています。その結果、私たちの営業利益は2020年度と比較して10倍に増加し、43億円に達しました。」と語るのはTSUBURAYA FIELDS HOLDINGSの代表取締役社長グループ最高経営責任者、山本英俊氏です。

山本氏はさらに詳しく説明しています。「この成功に続き、中国の大連と成都に新しいアトラクションを展開しました。中国の企業との提携により、我々の大切なウルトラマンを軸とし、約10か所で新規オープンが目途が立っています。幼少期にウルトラマンを愛した人々が、今もウルトラマンの魅力に惹かれ、私たちのアトラクションに足を運んでくださることはとても心強いことです。新しい映画やテレビ制作を通じてウルトラマンの魅力を引き続き活かしつつ、将来的なフランチャイズ展開の可能性についても検討しています。」

TSUBURAYA FIELDS HOLDINGSは、コンテンツ&デジタルビジネスの営業利益を2025年度までに90億円に倍増させるという野心的な目標を掲げ、現在、中国およびアジアでの活動を拡大し、近い将来にはグローバル企業およびトップクラスの国際的なIP企業を目指しています。同社の3年間の戦略では、IPの創出にソーシャルメディアなどのデジタルツールを活用し、中国のコンテンツ&デジタル領域での地歩を固めることを中心に展開されています。加えて確立されたブランド・エクイティ（ブランドの持つ資産）を武器に、EC展開を推進して効率的に販売網を拡大すると同時に、IPへのタッチポイントを増やすためのトレーディングカード、限定商品や、最先端のデジタルサービスを通じてASEAN地域での成長機会を探り、拡大していく計画となっています。2024年のロードマップは期待されています。同社にはアジアの複数のテーマパークから「ウルトラマンエリア」を開設したいと話があり、協議がすすめられています。さらに、世界中の視聴者に向け、円谷プロダクションとNetflixの協力事業によるウルトラマン映画の配信も決定しています。同社は今後、他国の文化に根ざした作品を制作することで、「ウルトラマン」が多国間で長く愛されるIPとなることを目指すとしています。

広義において、TSUBURAYA FIELDS HOLDINGSは戦略的なパートナーシップの構築や新しい知的財産（IP）の創造、市場の動向に合わせた既存のIPの活用を通じて、グローバルな野心的な目標を達成したいと考えています。山本氏は、「もちろん、パートナーシップに興味を持っています。当社は価値あるIPを持っており、ローカル（地元）のパートナーを見つけてライセンスを許諾することで、作品をローカライズし、ローカル向けの商品を制作したいと考えています。それが目標です。私たちは異なるプレーヤーが当社のIPを

使用できるようにする大規模で包括的な契約に興味を持っています」と述べています。将来のパートナーをサポートする観点では、TSUBURAYA FIELDS HOLDINGS はアジア市場向けにシンガポールにオフィスを開設し、2024年にはアメリカ市場に焦点を当てる予定であるため、5月にロサンゼルスでもオフィスを開設しました。

一方で、パチンコセクターでの唯一の全国的な流通業者として、同社子会社のフィールズは、全国 41 の地域と 7,000 軒のパチンコ店にまたがる支店およびショールームのネットワークにより、日本国内で戦略的に独自のポジションを築き、市場シェアは 15% に達しています。顧客やホールから収集したデータを活用して、フィールズは他の業者よりも多くの「ヒット」機を生み出すことができます。これは同社が保有する豊富な IP ポートフォリオを活用している結果です。同社の調査によれば、「ヒット」アニメーションシリーズに基づく機種は、新しいシリーズや有名なシリーズに基づく機種よりも優れたパフォーマンスを発揮し、市場がスマートマシンに移行する中、フィールズはメーカーやホールに対して独自かつ独占的な IP の付加価値を提供し続けていく計画です。

「最初に始めた頃、画面にゲームを表示することは不可能で、数字や文字しか見ることができませんでした。しかし、これならできるはずだという感触があり、やがて、人気のあるアニメーションをパチンコ機に応用することができました。しかし、当時は技術的な制限があったため、人気のあるアニメーションキャラクターを機械に使用することはできませんでした。」と山本氏は述べています。「しかし、今日では、日本の機械のグラフィックスとスタイルは、ラスベガスのスロットマシンよりもはるかに先進的です。」メーカーは今や、音楽スターから人気のあるテレビ番組シリーズまで、あらゆる種類のアニメーションを表示できるようになりました。これにより、これまで番組を見るだけだった新しいファンを引き込むことができます。人気テレビ番組のキャラクターやフランチャイズなど、価値の高い TSUBURAYA FIELDS HOLDINGS の IP ポートフォリオ考慮すると、独占的な IP の重要性が業界に浸透していく中で、スマートパチスロ機は、同社の成長を加速させるでしょう。

TSUBURAYA FIELDS HOLDINGS が先頭に立ち、多世代が楽しめるパチンコ魅力を広めていくことは、市場の将来の安定に大きな影響を与えるでしょう。山本氏が説明するとおり、「当社の企業理念は、高齢者を含む『すべての人々に最高の余暇』を提供することです。成功するものは時代や年代によって異なりますが、トレンドと状況に注意を払いながら、私たちは常に人々に最高の娯楽を提供し続けることができました。数年後には自動運転が日常生活の一部となる新しいライフスタイルがあるでしょう。私たちはあまり自動運転に興味がなく、むしろそれが人々に娯楽を楽しむための自由な時間を提供する点に注目しています。私たちは常に、より良い顧客体験を提供するために何ができるかを考えています。」

TSUBURAYA FIELDS HOLDINGS は、トレンドである知的財産 (IP) を通じてそれぞれの新世代と調和し、適応する能力により、現在の高騰している日本の株式市場において日本で最も大きく株価を上昇させた企業の一つとなっています。2018 年初めから 2023 年 8 月初めまでの間に、TSUBURAYA FIELDS HOLDINGS の株価は 376% 以上上昇し、今年の 7 月までのわずか 7 か月間で約 139% 上昇しました。パチンコおよびパチスロ事業だけでも、TSUBURAYA FIELDS HOLDINGS は 2023 年度に営業利益 77.1 億円を上げました (コンテンツおよびデジタルビジネスでは 43.7 億円)。次の会計年度では、同社は営業利益 80 億円を

目指し、その後 2024 年度には 85 億円、2025 年度には 90 億円を目指しています。同時に、同社は 2025 年度の連結営業利益 160 億円を目指しています。

そして何よりも、現在と将来の世代のファンの生活に喜びと豊かさを与えることが **TSUBURAYA FIELDS HOLDINGS** の中心的なミッションです。この取り組みは、単なるパチスロ機のヒットや、象徴的なキャラクターや物語を中心に新しいメディアを制作するにとどまりません。この献身の証として、2011 年にウルトラマン基金を設立したことが挙げられます。この取り組みでは、災害に見舞われた日本の地域の教育機関や養護施設へのウルトラヒーローの訪問を行っています。ウルトラセブンテレビ番組の 50 周年を記念して、基金は 2017 年に『ウルトラドリームプロジェクト』を開始し、日本全国の 600 の児童福祉施設を訪れることで子供たちの生活に影響を与えました。その慈愛を一層深めるため、基金は 2023 年 3 月にウルトラセブンとウルトラマンゼロを中部地方で台風の影響を受けた 10 の教育施設に特別な訪問しました。山本氏は会社の倫理を反映して、「もし私が当社の成功の本質を一言で言うなら、それは私たちが心と魂を注ぎ込んで努力を続けるという揺るぎない献身です。」と深い言葉で述べています。